

2. 指標設定

成果指標	指標名	情報公開による開かれた議会運営		—	指標の設定理由			
	数値	—			情報公開を積極的に行うことで市民参画による開かれた議会運営を目指す			
活動指標	指標	a	広報紙の発行回数	b	会議録の閲覧件数	c	ホームページの更新回数	d
	数値	目標	4回	目標	3,600件	目標	18回	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
情報公開による開かれた議会運営		-	-	-

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 広報紙の発行回数	回	4回 100.0%	5回 125.0%	4回 100.0%
b 会議録の閲覧件数	件	-	-	3,600件 100.0%
c ホームページの更新回数	回	15回 83.3%	18回 100.0%	18回 100.0%
d				

4. 課題と対応

課題
各年代を通じて幅広く多くの市民が議会に関心をもち、市政への参画を促すことが重要となる
対応（改善点等）
今までの情報提供に合わせ、ケーブルTVの開局により、本会議の生中継、録画放送を実施し、広く市民の方に情報提供を行っていく。その他の施策についても現在、特別委員会にて調査、検討をしている

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

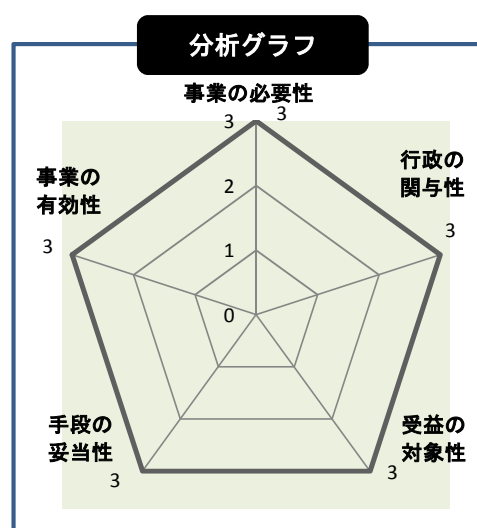
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		181,772	146,323	144,013	207,864
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	181,772	146,323	144,013	207,864
うち経常		181,772	146,323	144,013	207,864
事業費に係る人件費		21,225	25,599	26,278	25,800

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
議員年金制度の廃止により給付に伴う経費は自治体負担となったため平成23年度は、予算増となったが、その後は、ほぼ現状で推移する見込み

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 住民を代表する議決機関として、係る業務を行うため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 2元代表制の下、執行機関としての責任を負うため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 情報公開を積極的に行い市民参画の開かれた議会運営が求められるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 情報公開の手段として適切なものであり、今後もより充実した内容が求められるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 開かれた議会とするために有効性は高いと判断できるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	経費削減と議会だよりやCATVを活用し情報提供の推進